

# 図書管理システム開発ガイド

Ver 1.05

# 1 要件

この研修では、3～5 人のチームに分かれ、ABC システム（会社名はチームごとに決める）というソフトウェアハウスの SE として課題システムの開発に取り組みます。

この ABC システムに新宿図書館より依頼が来ました。

図書館からは、具体的なシステムの提案を依頼する文書「提案依頼書」を頂いています（次ページ）。

また、現在の図書館業務を知るための参考資料として「受付業務マニュアル」「分類コード表」および「各種台帳のサンプル」を、また、それらの内容を踏まえて図書館と ABC システムの間で一度打ち合わせを行っており、そこであがった疑問点と図書館による回答を「追加ヒアリング」として別ドキュメント（「新宿図書館 現行業務マニュアル」）にまとめてあります。

## 1.1 提案依頼書

### 現在の問題点

現在、新宿図書館では、資料を紙ベースの台帳で管理している都合上、以下のような問題点があります。

- 資料や貸出記録を調べるのが非効率
- 会員が自分で資料を検索する手段がなく、カウンターに問い合わせるしかない
- 以上の理由からカウンターの貸出返却業務が滞ることが多い

### システム化要件

上記問題を解決するため、最新技術を取り入れたオープンな図書館システムを導入し、これにより業務の省力化と会員サービスの向上を図りたいと考えています。システム化によって実現したいと考えている機能を以下にまとめます。

機能	概要
会員管理	会員台帳を電子化し、会員の登録・変更・退会・検索ができるようにします
資料管理	資料目録と在庫台帳を電子化し、資料の追加・変更・削除(廃棄時手続き)・検索ができるようにします
貸出	貸出台帳を電子化し、貸出業務をシステムで行うようにします
返却	貸出台帳を電子化し、返却業務をシステムで行うようにします
予約	予約台帳を電子化し、予約業務をシステムで行うようにします
延滞者対応	貸出台帳から延滞者を検索し、督促状の郵送有無をシステムで管理するようにします

## 1.2 発注要件

---

### システムの機能

今回はかなり短期間の開発であるため、納期の厳守を最優先とし、システム化要件の全てを実現するのは無理と考え、各サービスの必要性と、各機能を開発するのに必要な時間等を検討し、一次開発として実現すべき最低限の機能を絞り込む事にしました。

※最低限の機能以外は、どの機能を実現するかは各チームで検討

#### ・職員の役割について

図書館の職員として、受付係りと司書があるが、受付係りも司書と同様の業務を行えるものとします。

#### ・会員管理

一次開発での実現対象とします。会員の検索はE-Mailで行うものとします。

#### ・資料管理

一次開発での実現対象としますが、会員が資料を検索する事はできないものとします。資料検索は機能豊富であるといいますが、一次開発でどこまで実現するかは各チームで検討。また、資料に雑誌は含まれないものとし、資料の検索は資料IDで行うものとします。

#### ・資料の貸出

一次開発での実現対象とします。また、業務上不可欠なため、何らかの貸出履歴の検索機能を一次開発で実現すること。最悪全件表示のみでもよいが、より業務効率が高まる検索機能があるとよい。

#### ・資料の返却

一次開発での実現対象とします。

#### ・資料の予約

可能であれば一次開発で実現して欲しい。

#### ・延滞者対応

可能であれば一次開発で実現して欲しい。

#### ※デザインや装飾について

上記の機能実装を優先し、デザインや装飾は時間に余裕があれば実施

## 開発期間

研修期間と同じ。納品時に新システムを納品。

## 作業内容

ABC システムには以下の開発工程の作業を発注する。

- 要件定義
- 設計
- 実装
- テスト